

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
適切な支援の提供 (続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	○				100%				これまで同様スタッフ全員が支援計画の内容を理解し、個人に合った支援、目標達成に向けた支援を行ってまいります。	
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	○			ミーティングを行ない、意見を出し合いながら支援を行なっています。	/	/	/	/	ミーティングを行ない、意見を出し合いながら活動を行なっています。	
	6	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	○			ミーティングを行ない、意見を出し合いながら支援を行なっています。	100%				ミーティングを行ない、意見を出し合いながら活動を行なっています。	
	7	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	○				/	/	/	/	今後も利用者個人の課題をスタッフ全員がしっかりと把握し、利用時間に応じた適切な支援を検討、実施してまいります。	
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	○			ミーティング、振り返りを日々行ない、支援内容の分担について話し合っています。	/	/	/	/	ミーティング、振り返りを日々行ない、支援内容の分担について話し合っています。	
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	○			業務終了後、振り返りを行ない情報共有し、気付いた事等ノートに書きこみ、スタッフ間で周知しています。	/	/	/	/	業務終了後、振り返りを行ない情報共有し、気付いた事等ノートに書きこみ、スタッフ間で周知しています。	
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	○				/	/	/	/	これまで同様、利用者一人一人の記録をしっかりと記し、継続的な支援を行えるよう努めてまいります。	
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	○				/	/	/	/	今後も年2回のモニタリングと、日々の送迎での情報交換等を利用して、利用者の実態に合わせた支援計画等の変更を行ってまいります。	
	関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	○			相談支援専門員と連携を取りながら、児童発達支援管理責任者が参加しています。	/	/	/	/	相談支援専門員と連携を取りながら、児童発達支援管理責任者が参加しています。
		2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	/	/	/		/	/	/	/	

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
関係機関との連携（続き）	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	/	/	/		/	/	/	/	/
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	○			送迎時学級担任から当日の申し送りを伺い、デイ職員に周知し日々支援を行なっています。	/	/	/	/	送迎時学級担任から当日の申し送りを伺い、デイ職員に周知し日々支援を行なっています。
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	○			他事業所・相談支援専門員と支援について相談・意見交換をしています。	/	/	/	/	他事業所・相談支援専門員と支援について相談・意見交換をしています。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	○				/	/	/	/	今後も各専門機関との連携や専門機関での研修への参加を積極的に行い、さらなる支援の向上に努めてまいります。
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	○				56%	44%			長期休業を利用して、地域の児童クラブ等と連携し、障がいのない子どもと活動する機会を設定してまいります。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営		○			/	/	/	/	本事業所の収穫祭等を利用して、地域の方々や障がいのない子どもたちを招待し、地域に根差した開かれた施設を目指してまいります。
	保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	○			支援については送迎時都度報告しています。	100%			
2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	○					100%				今後も支援計画を示しながら支援内容の説明、相談を実施してまいります。
3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施			○			100%				今後、研修等を活用してペアレント・トレーニングについての知識を学び、支援の実施をしてまいります。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	○			送迎時、保護者様とコミュニケーションを図り血音に意見交換をし、都度職員にも周知しています。	89%	11%				送迎時、保護者様とコミュニケーションを図り血音に意見交換をし、都度職員にも周知しています。
	5	○				100%					今後も、保護者様からのご相談について、責任者を中心に、お力添えできるよう、検討、お話しを行ってまいります。
	6	○			季節に応じて保護者様との交流会を設けています。	78%	22%				季節に応じて保護者様との交流会を設けています。
	7	○			迅速に対応し、今後も誠意を持って対応して参ります。	100%					迅速に対応し、今後も誠意を持って対応して参ります。
	8	○			日々連絡ノートを活用し、情報伝達を行なっています。	100%					日々連絡ノートを活用し、情報伝達を行なっています。
	9	○			月1度行事予定表を配布し、季節に応じた活用内容を提案しています。	78%	22%				月1度行事予定表を配布し、季節に応じた活用内容を提案しています。
10	○			取り扱いには、今後も十分気を付けていきます。	100%					取り扱いには、今後も十分気を付けていきます。	
非常時等の対応	1	○				78%	22%				今後も、緊急時マニュアル等をもとに、保護者様や関係機関と連携を図り、安全な環境づくりに努めてまいります。
	2	○			年2回避難訓練、年1回火災訓練等定期的実施し災害に備えた取り組みを行なっています。	67%	22%	11%			年2回避難訓練、年1回火災訓練等定期的実施し災害に備えた取り組みを行なっています。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ		わからない
非常時等の対応 (続き)	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	○								これまで通り、年2回職員全体の虐待防止研修会と、関連機関が開催する研修会への参加を続けてまいります。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	○			契約時、しっかり説明を行ない同意の上書面・捺印をいただいております。					契約時、しっかり説明を行ない同意の上書面・捺印をいただいております。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	○			全職員が熟知し支援を行なっています。					全職員が熟知し支援を行なっています。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	○			全職員で改善策を考え、徹底し取り組んでいます。					全職員で改善策を考え、徹底し取り組んでいます。
満足度	1 子どもは通所を楽しみにしているか				楽しんで通所して頂けるよう日々取り組んで参ります。	100%				楽しんで通所して頂けるよう日々取り組んで参ります。
	2 事業所の支援に満足しているか				満足して頂けるよう日々取り組んで参ります。	100%				満足して頂けるよう日々取り組んで参ります。